

SRID キャリア開発事業

SRID キャリア開発事業が始まりました！

中沢賢治
SRID 担当幹事

SRID 会員は、国際開発協力分野の専門家や研究者として、開発途上国の現場や援助機関、研究機関等において実践的知識と経験を蓄積しています。SRID は、会員が持つこれらの知識・経験を若い世代の意欲ある若者たちに引き継ぎ、若者の問題意識とスキルを高め、将来に向けたキャリア開発に貢献することをめざして、新たに「SRID キャリア開発事業」を実施します。詳細は SRRID のホームページをご覧ください：

<http://www.sridonline.org/career.html>

活動の種類

「SRID キャリア開発事業」は、主として以下の活動を行います。（詳細は末尾の「活動内容一覧」をご参照ください）

- 1) キャリア開発塾
- 2) 国際機関、国際 NGO 等に勤務する若手邦人職員に対する支援
- 3) 学生団体の国際協力活動に対する一部助成

活動の特色

「SRID キャリア開発事業」は、次のような特色を持って運営されます。

- 1) 学生・社会人の個人およびグループ・団体からの要請に対して、その具体的なニーズに合致するように、研修内容をデザインして提供します。
- 2) 援助機関等ですぐに役立つ実践的な研修を提供します。
- 3) 学生・社会人のバックグラウンドと希望を基に、キャリア開発の方法・手段および努力目標について SRID 会員がアドバイスします。
- 4) 研修・カウンセリング等の活動の要請者が個人並びに学生グループの場合は無料とし、実費を SRID が負担します。
- 5) SRID は人材とノウハウを提供します。研修受講を希望するグループ・団体は実施会場や研修用器材を手当する他に、それぞれの組織規定にしたがって発生する費用を負担していただきます。
- 6) この「SRID キャリア開発事業」は、2017 年 3 月までをパイロット事業として実施し、2017 年 4 月以降は、2016 年度の結果をレビューして、継続するかを決定いたします。

SRID キャリア開発事業の具体的な活動内容 一覧

1) キャリア開発塾

a. 出張講座

受講者グループ（学生、社会人等）、団体（高校、大学、NGO 等）からの協力要請に対応して、SRID キャリア開発事業運営委員会からの推薦を受諾した講師が出張講座を実施します。

b. 能力開発・向上研修

プロジェクトの立案と運営管理方法、プロジェクト・サイクル・マネージメント (PCM) 手法、プレゼンテーション、多国籍・多文化等混成チームのマネージメントなど受講者グループの要請に応じて研修を実施します。

c. 学生及びキャリアアップを目指す社会人に対するカウンセリング

留学準備、進路相談、国際機関への応募方法、採用後のサバイバルのノウハウなどについて助言する等のカウンセリングを行います。

2) 国際機関、国際 NGO 等に勤務する若手邦人職員に対する支援

- a. 赴任前の実践的なカウンセリング
- b. 一時帰国中のカウンセリング
- c. 赴任中の情報提供
- d. 着任後、一時帰国時などのタイミングで、報告会の開催

3) 学生団体の国際協力活動に対する一部助成

SRID が資金援助するに相応しい活動であると認定、公表することにより、その活動努力が社会へ高く貢献していることを認め、これを奨励します。

- 金額：1 件について 10～20 万円を助成。（年に 3 件程度を実施）
- 報告義務：経理報告を含む報告書の提出と報告会の開催
- 推薦：申請書に SRID 会員（特定個人）の推薦を必須とし、案件終了後には推薦者が責任を持って数年間学生グループと連携を維持し、SRID ニュースレターなどで活動状況を報告します。
- 助成対象となった学生グループ及びその構成員は、優先的に SRID キャリア開発塾による支援の対象とします。

4) その他、本事業の目的を遂げるために必要な活動

その他、運営委員会が必要と認めた活動。

「キャリア開発塾」の実施事例：参加講師・SRID 会長 藤村建夫

学生団体の NPO 法人、多国間学生交流 (Multilateral Interaction with Students: MIS) からの要請を受けて、6 月 11, 12 日に「プロジェクト立案と運営管理の手法」研修が開催されました。2 日間で 27 名の学生が開発実務に直結した手法を演習形式で学びました。MIS が 8 カ国で実施している交流活動を円滑に進めるために、それぞれの国で応用できるプロジェクト立案と運営管理手法を習得することがこの研修の目的でした。参加した学生の皆さんからは次のような声が寄せられました。

- 研修資料を予習した時にはわかったつもりだった事が、ワークショップ形式で実際にやってみると簡単にまとまらないことを実感した。
- 現地コミュニティの人達の参加が、プロジェクトを成功させる鍵であることを学んだ。
- MIS の中でも下級生を指導する立場なのでこの研修はとても参考になった。学んだことを今後の活動に生かしたい。
- 開発問題に関して政策についての勉強はしてきたが、実際に小さな規模のプロジェクトにどう取り組むかというテーマが新鮮だった。
- 開発経済、金融、ビジネスの分野でも実務的な話を聞いてみたい。
- 国際機関などで仕事を経験した様々な人たちの経験を聞いて参考にしたい。

6 月 11 日 : 13 : 00 ~ 17 : 00 (国立オリンピック記念青少年交流センター)



計画立案と運営管理手法についての講義



事例を用いたワークショップ

6 月 12 日 : 14 : 00 ~ 18 : 00 (東京大学駒場キャンパス)



グループ発表を聞く参加者



分析を行うグループ